



JPDA

JAPAN PACKAGE DESIGN ASSOCIATION



日本パッケージデザイン大賞 2027

応募要項

(本要項は暫定版です。応募期間開始後に最新版をJPDAサイトよりダウンロードしてください)

主催：公益社団法人 日本パッケージデザイン協会



JAPAN PACKAGE DESIGN AWARDS 2027

「日本パッケージデザイン大賞」とは



JPDA

JAPAN PACKAGE DESIGN ASSOCIATION

「日本パッケージデザイン大賞」とは

公益社団法人 日本パッケージデザイン協会 (JPDA) が主催し、公募により広く作品 (商品) を募集して選考するコンペティションです。パッケージというデザイン領域のプロフェッショナルたちが集い、作品のデザイン性や創造性を競います。1985年から隔年で開催、パッケージデザインの社会的地位向上をめざし、優れた仕事に拍手を贈る場を築いてきました。生産や流通、環境を意識した包装の面だけでなく、デザイン的な価値や商品づくりの観点にも重きを置きながら、パッケージデザイナーの目で評価することも大きな特徴となっています。毎回約1000点以上の応募作品の中から会員審査員と外部特別審査員による厳正な審査を経て、大賞・金賞・銀賞・銅賞・特別審査員賞などが選出されます。

INDEX

1. 日本パッケージデザイン大賞2027 開催のご挨拶
2. 応募期間
3. 応募概要
4. 応募方法
5. 作品審査料
6. 二次審査
7. 注意事項
8. 入賞限定プログラム
9. お問い合わせ先
10. 作品年鑑掲載とその概要
11. 入賞作品巡回展
12. 入賞作品寄贈のお願い



ごあいさつ

公益社団法人日本パッケージデザイン協会 (JPDA) は、1985年より隔年で開催している「日本パッケージデザイン大賞2027」の作品を募集します。

古来より、日本には自然の恵みに感謝し、相手を敬う「包む」という独自の精神文化が深く根付いています。中身を慈しみ、その価値を大切に包み伝える慣習は、日本の現代パッケージにも受け継がれ、生活を豊かに彩る日本ならではの包装文化へと進化してきました。

パッケージは暮らしの中で最も身近なデザインだからこそ、手に取った瞬間のときめきや、使い終わった後の愛着まで含めて、デザイナーの思いを人々の心に届ける可能性に満ちているのです。

2026年の応募においても、次世代に繋がる環境への配慮や、多様な人々の心に寄り添う温かな眼差しを持つ、魅力に溢れた作品が集まることに期待しています。

自然を慈しみ未来へ繋いでいくこと、そして世代を超えて価値を共有する視点など、人々の暮らしや心を豊かにするデザインが今まさに求められているのです。

日本の生活文化と共に発展してきたパッケージデザイン。その現在地における「包む」を知る機会とするために、先見性のある斬新なデザインとの出会いを、関係者一同、心より楽しみにしています。

公益社団法人日本パッケージデザイン協会
理事長
信藤洋二



応募期間

2026年4月1日(水) 10:00～4月30日(木) 17:00

上記期間内に下記作品応募Webサイトにアクセスし、必要事項を登録してください。

※応募作品登録の URL は、
決まり次第掲載いたします。

こちらのQRコードからもアクセスすることができます。
(応募期間開始前はアクセスできません)





応募対象

■審査対象となる作品

2024年3月1日から2026年2月28日までに
新たに日本国内で販売(発表)され、
量産されたパッケージ作品

※日本国内でデザインされ、海外で販売された作品も含む

※過去に「日本パッケージデザイン大賞」に応募された作品は応募できません

※この期間にリニューアル(デザイン改訂)し、発売された作品も募集対象になります

※発表された作品とは、記念品やVI・BI(包装紙やショッピングバッグ他)の非売品、
無料配布品なども含まれます

※入賞作品を選定する二次審査は、現物審査となります

一次審査を通過された場合、入選通知に記載された場所に作品現物を送付していただくこととなります



■ 審査基準

1. 創造性 未来を切り開くあたらしいデザイン (Innovative)

固定観念にとらわれないアイデア、高いオリジナリティーを表現しているデザイン
「創造的な(イノベティブ) / 独創的な / 挑戦的な / 革新的な」

2. 審美性 美しさや魅力を感じるデザイン (Aesthetics)

美しさや心地よさなど、利用者が共感し所有欲や愛着につながるような価値を持っているデザイン
構造やフォルム、素材、表面加工、グラフィック(配色・タイポグラフィー・レイアウト)などが優れた表現
「ハイクオリティ / 情緒的な / 雰囲気が良い / 調和」

3. 機能性 分かりやすい、使いやすいデザイン (Easy to Understand / Usability)

商品情報や用途、機能が誰にでも分かりやすく使いやすいデザイン
パッケージとしての使いやすさが購入から廃棄までの多角的な視点で配慮されている
「人・暮らしに寄り添った / ユニバーサル / バリアフリー / 利便性」

4. 市場性 ターゲットや時代をとらえたデザイン (Marketability)

商品コンセプトやブランドメッセージを、見た目や機能で表現し購買行動を促すデザイン
社会環境や市場、ターゲットのニーズをとらえ、客観的・論理的に表現されている
「時代をとらえた / 高いブランド価値 / 新たな市場の確立 / 課題を解決」

5. 社会性 社会に貢献するデザイン (Social Responsibility)

環境保全やダイバーシティインクルージョンなど、変化し続ける社会課題を解決するデザイン
これまでのデザインの概念を拡げ、社会に新たなパッケージデザインの価値を伝えている
「サステナブル / 社会的視点 / グローバル / 環境配慮」

上記の5ポイントを重視し、判断基準とします。



■応募作品部門

※部門やカテゴリーは変化する社会・流通事情、時代背景を鑑みて、変更されています。

	応募作品部門	商品カテゴリー
1	食品部門	加工食品、冷凍食品、健康食品、調味料、粉末飲料、茶葉など
2	アルコール飲料部門	ビール、ワイン、ウイスキー、日本酒、焼酎、缶酎ハイ、リキュール、ノンアルコール飲料など
3	一般飲料部門	清涼飲料水、濃縮液体・ポーシヨン、乳飲料、ドリンク状のゼリー・ヨーグルトなど
4	菓子部門	チョコレート、クッキー、スナック菓子、煎餅、生和・洋菓子など
5	化粧品部門	メイクアップ、香水、スキンケア・化粧雑貨（つけまつげ、ビューラー、ネイルチップなど）
6	ボディ & ヘルスケア部門	ボディケア（石鹸類、洗顔料、クレンジングオイル、リップクリーム、ハンドクリーム、日焼け止めなど、制汗剤、あぶらとり紙、シェービング用品など）、ヘアケア（シャンプー、リンス、ヘアカラー、ヘアスプレー、育毛剤など）、オーラルケア（歯ブラシ、歯磨き粉、マウスウォッシュなど）、コンタクトレンズ（カラーコンタクト含む）、マスク、生理用品、おむつ、消毒液、サプリメント、入浴剤、医薬品（第一類～第三類医薬品および内服薬、外用薬（医薬部外品含む）など）
7	ホームケア & 電化製品・雑貨部門	家庭用品（キッチン周り、洗剤、ペット用品（餌含む）、消臭・芳香剤、トイレ用品など）、電気機器関連商品（調理家電、理美容家電、PC、スマホ周辺機器など）、アウトドア、スポーツ、園芸用品、衣料、玩具、ゲーム、音楽・映像ソフト、タバコなどのライフスタイル雑貨全般
8	土産・ギフト・記念品部門	観光土産（道の駅、空港、駅、高速SAなどで販売される地域特産品）、地域限定品（その土地や施設でしか購入できない商品）、カジュアルギフト（手土産、プチギフト）、催事ギフト（バレンタイン、母の日、父の日など）、ブランドの周年記念用品、イベント、プロモーション用限定品などの非売品など
9	輸送用ケース部門	家電製品、生鮮食品、飲料などの輸送用ケース、通販用などの配送用ケース
10	VI・BI部門	商品パッケージデザイン中心にブランディングされた作品群（包装紙、ショッピングバッグ、封筒など） ※パッケージ作品を含まない場合は対象外です。

※応募する部門が不明な場合のお問い合わせ先につきましては
決まり次第掲載いたします。

※応募された部門については、原則として応募者の申請を尊重いたしますが、応募状況を鑑み、JPDAコンペティション委員会にて最終判断し、審査に合致した部門に変更する場合がありますので、予めご了承ください。



3. 応募概要

■審査方法

■審査結果通知

■各賞と贈賞内容

■審査方法

審査は、JPDA全会員の投票により選出された審査員と、前回大賞・金賞・銀賞受賞者、会員外の学識経験者等で構成された特別審査員により、厳正に行われます。

なお、審査会では公平を期するため、応募者氏名は明示していません。

一次審査員48名

二次審査員17名

※審査会の見学については、審査会運営の都合上、行っていません。

■審査結果通知

一次審査結果(入選結果)は2026年6月下旬頃、全応募者にメール通知します。

二次審査結果(入賞結果)は2026年9月上旬頃、全入選者にメール通知します。

※入賞・入選作品は2027年5月下旬に刊行される『年鑑日本のパッケージデザイン2027』、及び協会Webサイトに掲載されます。

■各賞と贈賞内容

《大賞》

最優秀と認められた作品に対して、以下の賞が授与されます。

「日本パッケージデザイン大賞」(賞状・トロフィー)……1点

《入賞》

原則として部門ごとに、以下の賞が授与されます。

「金賞・銀賞・銅賞」(賞状・トロフィー)……各1点

《特別審査員賞》

「特別審査員賞」(賞状・トロフィー)……5点

※審査員による協議の結果、作品応募状況、評価に値する作品の有無により、贈賞数が増減する場合があります。

※贈賞式は、2027年2月を予定しています。

ロゴ使用のご希望について

入賞・入選された作品におかれましては、「日本パッケージデザイン大賞」のロゴを、作品パッケージやPR等にご使用いただくことができます。詳細は後日ご案内いたします。

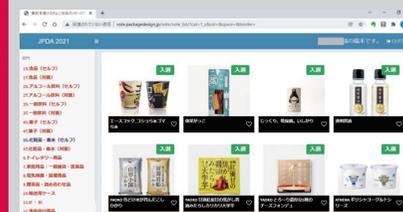


審査の流れ

一次審査

画像審査

選出された審査員がPCなどの画面上で画像を見て審査します



通知

一次審査結果通知

全応募者にメール通知します

作品送付

作品現物送付

二次審査では現物で審査するため必ず現物送付が可能な作品で応募してください

二次審査

現物審査

選出された審査員が会場に置かれた現物を見て審査します





※2026年2月26日現在における審査参加予定者

■一次審査員48名：会員審査員24名 前回入賞審査員17名(重複-4名) 一次・二次兼任会員審査員11名

選出一次審査員(JPDA会員 会員投票による選出35名)

天野 和俊	石浦 弘幸	石川 竜太	石田 清志	井田 紀美子	牛島 志津子	畝野 裕司	遠藤 健一
小川 亮	川路 欣也	桑 和美	鈴木 智晴	高橋 敏	竹内 清高	竹澤 さつき	津島 智範
永島 学	西澤 明洋	平井 秀和	福井 政弘	福本 佐登美	松尾 政明	松田 澄子	渡邊 理絵

前回 金銀賞受賞者審査員(17名) ※前回受賞者の中で会員選挙でも当選された審査員は、お名前を重複して記載

金賞受賞者

加藤 千洋(KAAGA inc.) 小泉 和信(株式会社博報堂) 小玉 文(株式会社BULLET) 東海林 小百合(SAYURI STUDIO,INC.)
 関本 明子(株式会社ヒダマリ) 西澤 明洋(株式会社エイトブランディングデザイン) 廣瀬 賢一(ソニーグループ株式会社)

銀賞受賞者

内田 美奈(王子産業資材マネジメント株式会社) 小川 貴之(Right Design inc.) 小野 彩子(株式会社小野デザイン事務所)
 加藤 亮介(KAAGA inc.) 齋藤 智仁(summit) 三原 美奈子(三原美奈子デザイン) 中山 奈津子(カゴメ株式会社)
 徳田 祐司(株式会社カナリア) 村上 雅士(emuni) 横山 尚季(株式会社デザインパーソン)

■二次審査員17名：一次・二次兼任会員審査員11名 前回大賞二次審査員1名 二次特別審査員5名

選出二次審査員(JPDA会員 会員投票による選出11名) ※一次審査員兼任

梅原 真	大上 一重	小川 裕子	加藤 芳夫	工藤 青石	小玉 文
東海林 小百合	信藤 洋二	三原 美奈子	山崎 茂	渡辺 有史	

前回「大賞」受賞者 ※二次審査のみ ポーラデザイナー (重田 くるみ / 神山 カリン 舞 / 松本 亜弓)

特別審査員(JPDA会員外5名) ※二次審査と特別審査

佐々木 拓(コクヨ株式会社 YOHAK_DESIGN STUDIO / アートディレクター・プロダクトデザイナー)
 佐藤 卓(株式会社TSDO主宰 / アートディレクター・グラフィックデザイナー) 田中 せり(アートディレクター・グラフィックデザイナー)
 津田 淳子(「デザインのひきだし」編集長) 山下 奉仁(株式会社 日経BP「日経デザイン」編集長)



■応募作品登録について

下記URLのサイトにアクセスし、表示された手順に従って必要事項を登録してください。

※応募作品登録のURLは、
決まり次第掲載いたします。

こちらのQRコードからもアクセスできます。 →
(応募期間開始前はアクセスできません)



作品応募期間：2026年4月1日(水)10:00～4月30日(木)17:00

※上記期間外での応募登録不可。

※応募期間最終日はアクセスが集中し、一時的にサーバーの負荷が増える可能性があります。このため、応募登録作業が中断、または通常時より時間がかかり期間内に登録終了することができない場合もあります。期間内に応募登録が完了できなかった場合は、理由の如何を問わず、応募を受理することはできません。余裕をもって早めの応募登録を推奨いたします。



4. 応募方法 ■一次審査の作品画像について

■一次審査の作品画像について

応募登録フォーマット上で、所定の文字情報とともに、応募する作品画像を登録してください。

- 画像データは、JPEG形式で**2400×2400Pixel**の正方形でご応募ください。
- 1作品の「応募画像」は4枚まで登録できます。

1作品に登録できる画像

計**4枚**まで
(任意追加画像は2枚まで)

必須画像

①審査メイン画像

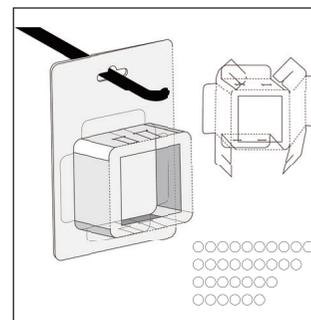


②全ラインナップ画像



- 「①審査メイン画像」は、一次審査画面においてアイコンとして表示されます。**作品を正面から撮影した画像**としてください。
- 「②全ラインナップ画像」は、**全ての審査対象品が把握できる画像**です。応募1作品の中で複数点を応募する場合のみ、提出が必要となります。画像内の点数と、二次審査(実物審査)時の提出品は同数である必要があります。(1作品で複数応募の場合のみ)
※「①審査メイン画像」で全ての対象品が網羅できている場合は本項目の提出は不要です。
- ①②とも、**画像の背景は白、黒またはグレーを基調**にしてください。

任意追加画像



- 任意追加画像は**合計2枚まで**登録可能です。
- 作品がメインの画像であれば**、部分的なクローズアップ、デザイン意図や機能・構造の説明や新旧比較、または自由に演出を施した画像での登録が可能です。
- 必須画像の登録がないと追加登録できません。

注意

※登録された画像がルールから著しく違反すると判断された際は失格となる場合もありますのでご注意ください。
 ※一次審査で画像応募した作品内容が、二次審査時の現物作品送付時に相違することはいかなる場合も認められません。
 相違した場合、入選は取り消しとなります。**必ず二次審査時に現物送付が可能な作品で応募してください。**

入賞作品画像は、日本パッケージデザイン協会の広報活動に使用します。また、必要に応じてトリミングする場合がありますので、あらかじめご了承ください。



4. 応募方法

■必須画像についての対応ルール(点数・内包物)

■応募作品の点数について

- 応募作品に複数アイテム・バリエーションがある場合、1作品につき**最大20点**まで登録可能です。
- 登録画像内のものは**全て審査対象物**と見なしますので、画像と**実際の作品点数との違いが無いようにご注意ください。**



同一デザインは3点まで
(画像は作品点数:3点)



同一ブランドのバリエーションは20点まで
(画像は作品点数:6点)



外箱などから中身を出して展示の場合、複数点とカウント
(画像は作品点数:2点)



外箱内に複数の個装を収めて展示の場合、1点とカウント
(画像は作品点数:2点)



VI・BI部門も20点まで
(画像は作品点数:6点)

■応募作品における内包物について

- 内包物は審査の対象ではありません。



← 内包物は、作品内に収める

パッケージにかかわる構成物(内箱・台紙等)は外箱から出して見せても構いません。左記画像の場合は「電話」を構成物から出さないようにしてください。



← 生鮮食品・加工品などの中身が入った作品は一次審査においては画像に含めることは可能です。

※二次審査(現物審査)はダミーにしてください。

生鮮食品・加工品など中身(現物)が入った状態の作品は、二次審査(現物審査)の際には事故防止(腐敗・退色・破裂等)のため、必ず中身をダミー(モックアップなど)に差し替えた作品現物を送付してください。



必須画像における審査対象外になってしまうNG例

●必須画像に関するルールに違反するもの



全ての応募画像の作品点数が不明瞭なもの



白～薄いグレー、黒以外の背景

●応募対象(点数・内包物)のルールに違反するもの



撮影画像内に20点を超える作品が写っているもの

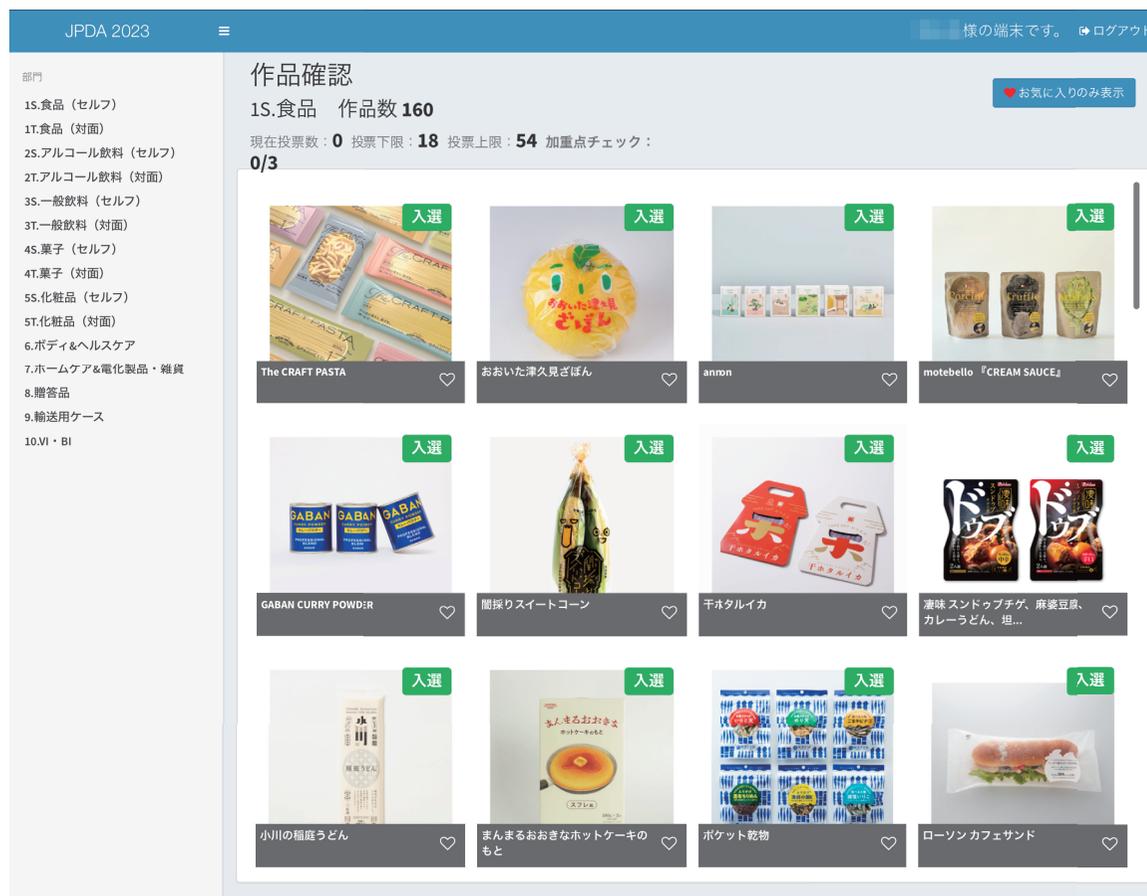


審査対象ではない内包物をパッケージ作品の外に出す

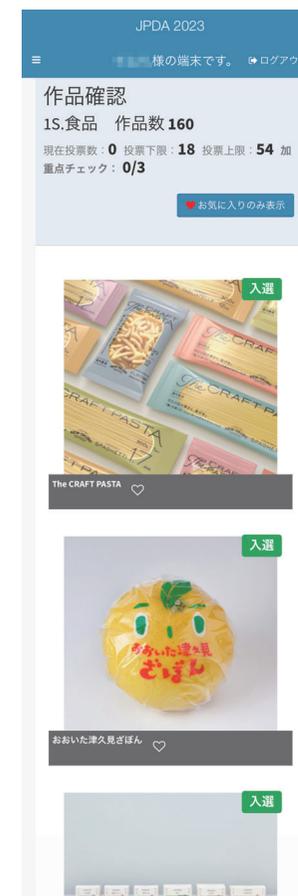


■応募画像の一次審査画面での見え方

応募画像1 (メイン画像) がギャラリー状に他作品と比較する形で見られ、作品を選ぶと登録された4枚までの画像や作品情報などが確認できます。



PC



Mobile



作品審査料

■ 作品審査料

○ 応募1作品につき……15,000円(税込)

■ 作品審査料の支払い方法

JPDA事務局より請求書を発行します。請求書記載の期日までに指定口座にお振込みください。

その際、必ず請求書に記載された宛名でお振込みください。

異なった名義で振り込まれると入金処理ができず、未入金扱いとなりますので、遵守してください。

理由の如何を問わず、期日までに入金確認ができない場合は、応募無効となります。

また、お振込み後に応募キャンセルがあった場合、作品審査料の返却はいたしません。

また、審査後のキャンセル、入賞・入選辞退は一切受け付けません。十分に確認作業を行ったうえ、ご応募ください。

■ 年鑑掲載料

入賞・入選作品は『年鑑日本のパッケージデザイン2027』に掲載にあたり、掲載料(撮影代含む)として入賞・入選作品1点につき13,200円(税込)を別途ご請求いたします。

詳細は20ページを参照ください。



6. 二次審査

- 作品送付先
- 作品の保管
- 作品返却手数料

※2026年2月26日現在の二次審査情報

二次審査

一次審査を通過し、入選となった場合、入賞作品を選出する二次審査へ進みます。

二次審査は現物作品審査となりますので、入選通知が届いた応募者は「7. 注意事項」をご確認のうえ、記載された期間内に現物作品を宅配便にてご送付ください。

■作品送付先

一次審査を通過した応募者に別途お知らせいたします。

作品送付期間: 2026年7月21日(火)～7月28日(火)

※作品の送料は応募者のご負担になります。着払いでの対応等は受け付けておりませんのであらかじめご容赦ください。

※上記期間外に作品を送付された場合、受理できません。作品が行方不明となるなどの事故につながりますので、厳守してください。規定が守られず事故が生じた場合、主催者はその責を負いません。

※期間内に作品が到着しなかった場合、審査会運営に多大なる支障が生じますので厳守してください。

※入選結果通知時に、入選作品をすべて収録する『年鑑日本のパッケージデザイン2027』(2027年5月下旬刊行)の年鑑掲載料をご請求いたします。

■作品の保管

送付いただいた作品の扱いには万全を期しますが、不測の事故等で汚れや破損が生じた場合、主催者はその責を負いません。

■作品返却手数料

送付された作品は、原則として返却いたしません。ただし、高価な作品や貴重な作品などで返却を希望される場合に限り、対応いたします。手続きは以下の通り。

あらかじめ応募登録時に作品返却希望欄にチェックを入れて申請してください。

二次審査結果通知時に返却手数料請求書(梱包費その他)を発行いたします。請求書記載の期日までにお振込みください。

また、作品返却は宅配便受取人着払いとなりますので、手数料のほか、別途着払い料金が必要となります。

○返却手数料……1作品につき……1,320円(税込)

○返却先会社名、担当者名、住所、電話番号、応募時に付与される応募者ID番号を記入した「着払い伝票」(送品時に使用した枚数分)を必ず作品送付時に同梱してください。「着払い伝票」が同梱されていない場合は返却いたしません。

※返却作業の都合上、宅配業者は「ヤマト運輸」「佐川急便」の2社に限定となります。



7. 注意事項

- 作品応募に関する注意事項について
- 二次審査作品送付に関する注意事項について

注意事項

■作品応募に関する注意事項について

入賞・入選した場合、応募時【応募作品情報】に記入された内容は、日本パッケージデザイン協会のWeb情報、『年鑑日本のパッケージデザイン2027』（六耀社刊行）にも掲載されますので、正確な情報を記入されるようご注意ください。
また、記入事項に不備、不明点があった場合には登録された連絡担当者様にお問い合わせいたしますので、年鑑刊行時（2027年5月下旬）まで継続して連絡可能な方をご登録してください。

■二次審査作品送付に関する注意事項について

※送付に際しては、以下の事項を確認いただき、間違いのないようお願いします。

○作品の直接搬入は行っておりません。

○審査会場での展示例画像をA4横サイズで作成し必ず同梱してください。

ただし、展示スペースには限りがありますので、ご要望にお応えできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

○作品は必ず現物を送付してください。

○ただし、「生もの」「干物」「チョコレート」「生ジュース」など、腐敗、退色、常温で変質してしまう可能性があるものに関しては、危険な事故や汚染の発生となる恐れがありますので、必ずダミー（モックアップ等）に差し替えて送付してください。

万一、当該物を送付された場合は、廃棄処分いたします。※冷蔵設備の用意はありません。

○透過性素材の箱や袋のパッケージで、内容物のダミー作製が困難なものは、内容物が入った状態の写真出力紙（B5横サイズ）を1枚添付することができます。

○VI・BI部門につきましては、デザイン意図を説明したA4縦サイズのカラー出力紙を1枚添付することができます。

○台紙貼りをした作品、展示台、台紙、布など、作品以外の付属品は送付不可です。

万一、当該物を送付された場合は、廃棄処分いたします。審査会場では、公平を期すため白紙を敷いた展示台に作品を陳列します。

○積み重ねても作品が破損しないよう、堅牢な段ボール箱に収納してください。

また、段ボール内でも作品同士がぶつかって破損することを防止するうえで、隙間が生じないようにしっかり梱包してください。

○ひとつの段ボールに複数の作品を混載する場合は、開封時にそれぞれの作品が区別された状態になるよう、仕分けて梱包してください。

○送付期間は厳守してください。期間内に到着しない場合、審査対象除外となります。



■その他注意事項

- 入賞・入選作品で、盗作など不相当と判断された場合、他人の諸権利に抵触するものは、結果通知後であっても、入賞・入選を取り消します。
 - 応募者は、応募する作品が他の応募者と重複しないよう、関係者間で事前調整のうえ、応募してください。
 - 作品応募に関し、応募者は以下の事項につき了承いただいたものとします。
 - ①下記の場合において、事例紹介を目的とする年鑑掲載作品画像の転載、映写、展示などを行う権利は、当協会と年鑑発行元の六耀社に帰属することを了承する。
 - ・年鑑販売促進としての紹介宣伝
 - ・書評、評論、協会事業としての紹介宣伝
 - ・公的目的を持つ放送、展示会、刊行物その他による紹介や発表
 - ②応募作品のクレジット表記ならびに内容に関する責任は、応募者にあるものとする。本件は、関係者間で事前に確認・承諾を得たうえで応募してください。
 - ③年鑑販売によって生じる印税については、当協会の事業収入とし、年鑑掲載者への配分は行いません。
- ※地震等の災害が発生した場合、協会コンペティション委員会判断により「日本パッケージデザイン大賞2027」を中止とする場合があります



- 日本パッケージデザイン大賞では、入賞作品を対象にした様々な限定プログラムをご用意しております。皆さまの入賞作品PR、企業PRなどにご利用ください。

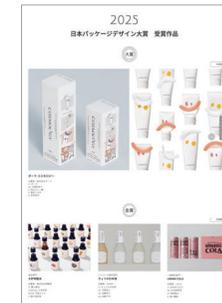
入賞作品の紹介と受賞者の功績を称える贈賞式を開催



入賞の証である賞状・トロフィーの授与



JPDA Webサイト掲載



SNS等での情報発信



パッケージデザインの今が確認できる資料性の高い年鑑への作品掲載・審査員コメント



日本各地での入賞作品巡回展 (一部展示の場合あり)



大賞マークを活用したアピール (掲載規定あり)





9. お問い合わせ先



- 作品審査料、入賞・入選作品の広報に関する質問は、本コンペティション主催の日本パッケージデザイン協会 (JPDA) 事務局までお問い合わせください。

公益社団法人 日本パッケージデザイン協会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-4-3 ヒルズ884ビル 6F

Phone:03-3815-2723

info@mail.jpda.or.jp

<https://www.jpda.or.jp/>

(10:00~18:00 土・日・祝日を除く)

- 一次審査に関する不明点、質問事項の問い合わせ先につきましては、
決まり次第掲載いたします。



■年鑑掲載

入賞・入選作品は『年鑑日本のパッケージデザイン2027』に掲載されます。

なお、誌面構成の都合上、作品のデザインをわかりやすくする意図で、出品された全作品を掲載できない場合がありますことをあらかじめご了承ください。また、掲載作品の撮影にあたり、出品された作品に審査の過程で傷みが生じてしまった場合、作品の差し替えやレイアウトの都合上、追加出品等のご依頼をする場合もありますので、その際にはご協力くださいますようお願いいたします。

■年鑑掲載料

作品の年鑑掲載にあたり、年鑑掲載料(撮影代含む)として入賞・入選作品1点につき13,200円(税込)を別途ご請求いたします。

ご請求書は入選結果通知時に発行いたします。

■年鑑概要

- 企画・監修：公益社団法人 日本パッケージデザイン協会
- 発行・発売：株式会社六耀社
- 体裁：B5判変型(天地240mm×左右180mm)580ページ前後(作品ページフルカラー)並製
 - ※体裁は予定です
- 定価：27,500円(税込)
- 発行：2027年5月
- 発行部数：2,000部(国内・海外/予定)

※年鑑の編集は、年鑑出版委員会に一任されています。



■入賞作品巡回展

年鑑刊行後(2027年春以降)、入賞作品の巡回展を開催予定です。具体的なスケジュールにつきましては後日改めてご案内いたしますが、2箇所で同時期に開催される際、入賞作品を追加でご提供いただく場合もございますのでご了解ください。

■入賞作品寄贈のお願い

JPDAアーカイブ委員会では大賞・金賞受賞作品の収集保管展示等の活動をしております。つきましては、大賞・金賞を受賞されました際には作品寄贈のお願いをしております。あらかじめご承知置きの上、ご協力いただけますようお願い申し上げます。